

目次

凡例

I 近代西欧文明受容の土壌

- 1 広益国産考 一之卷(大蔵永常)……………三
- 2 扶氏医戒之略(緒方洪庵)……………二〇
- 3 三本木平開業之記(新渡戸十次郎)……………三
- 4 化学通 卷一(川本幸民)……………三三
- 5 鉄銃製造御用中心覚之概略(大島高任)……………四〇
- 6 百学連環 総論(西周)……………五
- 7 日本木工道具之説(水上彦太郎)……………八

II 文明開化と科学技術

- 1 訓蒙 窮理図解 卷の一(福沢諭吉)……………一〇
- 2 西国立志編 第二編(中村正直)……………二三
- 3 民情一新 第三章(福沢諭吉)……………二四
- 4 日本服と洋服と衛生上利害如何(松山棟菴)……………二五

5	電気瓦斯の兩燈經費比較(藤岡市助)	一五
6	理科仙郷 第一講(山県悌三郎)	一六

III 技術教育と基礎科学の振興

1	坑学寮新設に関する意見書(大島高任)	一八
2	技術伝習始末書(佐野常民)	一九
3	工学叢誌 緒言(大島圭介、ダイエル)	二四
4	化学と医学との關係を論ず(三宅秀)	三〇
5	理学之説(菊池大麓)	三四
6	理化両学の功益を民間に播布せんことを務むべし(渡辺洪基)	三三
7	工芸雜誌の発刊を祝す(原田千之介)	三五
8	理学を振興するの説(手島精一)	三六
9	工業の進歩は理論と実験との親和に因る(志田林三郎)	三九
10	地方にも工手学校の設立を望む(田舎山人)	六四
11	同志社ハリス理化学学校設立の趣旨(下村孝太郎)	六六

IV 技術近代化のあゆみと社会

1	日本鉄道延線論(杉山輯吉)	七五
2	工業振興論(吉田平二期)	八〇

3	工族諸君に告ぐ(中江兆民)	三〇〇
4	琵琶湖疏水水力配置方法報告書(田辺朔郎、高木文平)	三〇八
5	現在の鉄道と未来の鉄道(佐分利一嗣)	三二六
6	伊予鉱山論(今泉嘉一郎)	三三三
7	足尾銅山鉱毒加害の儀に付質問(田中正造)	三四四
8	我が国工学者社会に望む(田口卯吉)	三四七
9	釜石鉄山の話、併せて我国鉄業の前途を論ず(野呂景義)	三五〇
10	技術者責任に就て(渡辺洪基)	三五六

V 日本の科学と技術に対する外国人たちの眼……………三七一

1	鉱業試験所設立建議草稿(ネノト)	三七三
2	農業改良按(フェスカ)	三六九
3	工業の方針(ワグネル)	四〇四
4	在職二十五年祝賀会挨拶(ベルツ)	四二〇

解 説(日本における近代科学技術思想の形成)……………飯田賢一……………四二五